

# 地域再生計画

1. 地域再生計画の名称  
信濃町水環境再生計画
2. 地域再生計画の作成主体の名称  
長野県上水内郡信濃町
3. 地域再生計画の区域  
長野県上水内郡信濃町の全域
4. 地域再生計画の目標

信濃町は、長野県最北端に位置する人口 10,424 人（平成 17 年 4 月 1 日現在）面積 149.27 k m<sup>2</sup>の町で、周囲には北信五岳がそびえ、町の中心にはナウマンゾウで有名な野尻湖が位置する、昔から水と緑の豊かな地域である。

しかし昭和 63 年の夏、地域の観光資源でもある野尻湖に淡水赤潮が発生し、湖の水は白く濁り周辺には異臭が漂うなど、観光客で賑わうはずの湖が汚染され、地元経済に深刻な打撃を与えた。淡水赤潮の原因の一つに家庭などからの雑排水の流入が考えられた。

こうした事態を踏まえ、本町は下水道の整備を進めることとし、現在まで公共下水道事業をはじめ特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、個別排水処理施設整備事業を計画的に進め、環境保全に努めているところである。しかし、依然として汚水処理人口が伸び悩んでいるのが現状である。

一方で本町は、長期振興計画の中で『思わず深呼吸 心に花咲くしなのまち』をキャッチフレーズに『あふれる自然と豊かな生活で満たされた明るく活力ある町づくり』に取り組んでおり、その取り組みの重点事業として『癒しの森』事業を進めている。これは、本町を訪れる観光客に、きれいな水で作られた米や野菜を食していただける、やすらぎを感じられる場所を提供しようとするものであり、町の基幹産業の一つである農業の活性化にもつながるものである。

また、小学生対象の野尻湖クリーンラリーでの水環境教育、町住民自ら率先してゴミ拾いや道路・河川清掃を行うなどの活動を通じて自然環境の保全に対する意識の向上に努めている。それらの活動が野尻湖にお

いて「ホシツリモ」(藻の一種)の復活として徐々に成果がでてきている。

こうした状況を踏まえ、かけがえのない豊かな自然環境を守るため、地域再生交付金を活用して下水処理施設の整備を推進し、一層の水環境の保全を図る。

(目標 1) 下水処理施設の整備の促進

( 下水処理普及率を 57.8%から 80%に向上 )

(目標 2) 観光客入込数 約 106 万人(平成 16 年)から約 110 万人に増加

## 5 . 目標を達成するために行う事業

### 5 - 1 全体の概要

平成 23 年 3 月末までに、公共下水道の認可区域 262ha の整備を行うとともに、上記以外の区域においては浄化槽の整備を行い、下水処理人口普及率を 57.8%から 80%に引き上げる。

また、町独自の事業として、癒しの森事業や水辺の事業を併せて実施する。これらの取組みにより観光客の入り込み数を年間約 106 万人から約 110 万人に増加させるなど、地域の活性化につなげる。

### 5 - 2 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

下水処理施設整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。

なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

・公共下水道・・・・平成 13 年 8 月に事業認可

[事業主体] いずれも信濃町

[施設の種類] 公共下水道・浄化槽(個人設置型)

[事業区域] 公共下水道 信濃町公共下水道認可区域

浄化槽(個人設置型) 信濃町全域(ただし、公共下水道及び農業集落排水地域を除く)

[事業期間] 公共下水道 平成 18 年度～19 年度  
浄化槽(個人設置型) 平成 18 年度～22 年度

[整備量] 公共下水道 150mm L=2,280m  
浄化センター 1 箇所  
浄化槽 75 基

なお、各施設による新規の処理人口は次のとおり。

公共下水道 公共下水道区域内で 2,300 人、浄化槽(個人設置型)  
町内全域で 380 人

[事業費]	公共下水道	事業費 731,000 千円 (うち交付金 373,200 千円) 単独事業費 357,800 千円
	浄化槽(個人設置型)	事業費 28,920 千円 (うち交付金 9,640 千円)
	合計	事業費 759,920 千円 (うち交付金 382,840 千円) 単独事業費 357,800 千円

### 5 - 3 その他の事業

#### 町独自で行う事業

##### 癒しの森事業

黒姫山を中心に緑豊かなハイキングコースを整備し、きれいな水や空気、森を活かしたやすらぎの時間と空間で森林療法や免疫療法、カウンセリングなどを体験していただく。併せて地元産の米や野菜、ハーブ、薬草などを取り入れた宿を提供することで、農業の活性化にもつなげる。

##### 水辺の事業

###### ・野尻湖クリーンラリー

地元小学生を対象に、野尻湖の水質や微生物について実際に観察し、きれいな水を守るために自分たちで何ができるかについて学ぶ。

###### ・野尻湖トライアスロン

野尻湖を中心に公共下水道など整備が進んだため、湖の水質浄化につながり、ウォータースポーツも盛んになってきている。また、水泳競技がきれいな淡水で行える会場として野尻湖にて毎年夏、トライアスロン大会が行われるようになった。県内外から多くの選手や見学者

などの観光客が来ていただくことによって、観光事業の活性化が期待される。

6 計画期間

平成 18 年度から平成 22 年度

7 目標達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4 に示す数値目標に照らし、状況調査、評価し公表する。また、必要に応じて事業の見直しを図る為に、学識経験者、地元住民代表で構成する「信濃町下水道事業運営審議会」において評価・検討を行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

汚水処理施設整備計画については、最新のデータに基づいて施設計画を検討したものであり、既存の「長野県汚水処理施設整備構想」(都道府県構想)に掲載された計画と異なる箇所があるため、次回の都道府県構想の見直し時に反映することとする。